



## 地域の方の力をお借りして学ぶ子どもたち

5月29日、6月5日、12日の月曜日、5年生の家庭科の授業へ、ゲストティーチャーとして地域の方をお招きしました。今回は、針と糸の扱いをはじめとする縫い物の授業でした。

全部で15人のゲストティーチャーがそれぞれのグループに分かれて入り、児童の質問に答えたり実際の作業を補助したりしてくださいました。児童も慣れており、次々と質問したり出来映えを確認したりするために声をかけ、和やかな雰囲気の中で授業が進んでいました。



これだけのボランティアの方が集まる学校は数少ないと思います。地域全体で子どもを育てていただける環境にある新治学園。ありがたいことです。

## 地域の場所までお借りしての田植え学習

5月30日(火)には、3、5年生合同での田植え学習が行われました。

学校運営協議会の滝田様のお力添えで、運動公園のはす向かいの田んぼで、稲の苗を自分たちの手で植えていきます。子どもたちは大勢で挑戦したものの、植え終わると思ったよりわずかな範囲で、実際に田んぼ全体に苗を植える作業の大変さを感じたようです。

一昔前と異なり、こうした体験も得がたいものになっています。地域の方のお力添えを得て、体験させていただけることに、感謝の思いです。



## 除草作業にも地域の方のお力添えが…

同じく5月30日(火)には、学校運営協議会の呼びかけに応えたボランティアの方々が、校庭周辺の除草作業を行ってくださいました。通りに面した部分がすっきりときれいになっています。

また、6月1日(木)の放課後には、沢辺方面からの通学路の草木剪定をしてくださっている方が、お名前は名乗っていただけませんでしたが、子どもたちの通学の邪魔にならないようにしたいという一心で、垂れてくるツタ等を除去してくださりました。多くの方に支えられている新治学園。子どもたちの教育活動にいっそう尽力して参ります。

